



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

令和4年1月25日号  
発行所 / (有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町 2-6-45-7 号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて  
自然由来です

新発田青果ファーム  
高橋農園の  
手作りジャム

600円税別  
フルーツチェ  
りりんご 桃

高橋農園  
(新発田市橋本1314)  
TEL.0254-29-2287  
http://takahashinouen.com/

シャムやジュース販売中!  
ご贈答に人気です。

しばた雑煮ファーム 検索

# 第18回しばた雑煮合戦、 ドライブスルーで実施

雪のちかつく令和4年1月9日(日)、第18回を迎えた雑煮合戦は、感染対策を徹底して五十公野公園駐車場で開催された。マスク・消毒・検温はもちろんです。スタッフ(新発田商工会議所青年部のメンバー)は抗原検査を実施していた。

例年は全国から参加する出店者も、今年は感染症を考慮し、新発田市内の14店舗に限った。

来場者は事前申込制(令和3年12月1〜12日)で、自動車で来場して乗車したまま受付を済ませ、好みの雑煮を用紙に記入して係員に注文票を渡す。注文を受けた係員は

出来上がった雑煮を集めたテナント溜め場に駆け付け、注文の雑煮を受け取り、ダッシュでまた自動車に走って雑煮を届ける。いわゆるドライブスルー&テイクアウト方式である。その場で食べることはできなくて、帰宅後に楽しむことになる。自動車1台当たりの20杯まで、1店舗最大5杯までの制限があったが、なかには制限いっぱい杯数を注文するお客さんもいた。恒例となった雑煮合戦は昨年は大雪のために中止を余儀なくされたが、来場者は開催を心待ちにしていたのである。

主催者は来場者の待ち時間を少しでも短縮しようと、1時間当たりの入場自動車数を120〜130台に制限していたため、従来開催時の行列するのとは比べても大きな混乱はなかった。「寒空の中で立って長時間並ぶよりはいい」との好意的意見や「あつこく見て歩くイベントならではあるが、しみはなかったかも」という人もいた反面、「雑煮合戦のホームページに掲載された写真とコメントを見て、事前に食べたい雑煮を選んできたので、帰ってから食べ比べるのが楽しみという人も。今年の人気はフランドルである新発田牛や、もち豚をあしらったもの、地場産野菜にとわったもの

のほか、メキシコ風やラーメン・アレンジ、鴨南蛮風な多士達や選ぶのに頭を悩ましていた人もいた。割烹谷川の「福えび雑煮には大きなえびがごろりと入り、なんと戻付けの「アマヒエのお札がついていた。午前中になくなったものは初出店の江戸屋本店の「新発田牛ゴロゴロ牛すじ雑煮」について割烹谷の「新発田野菜のとり南蛮雑煮」ついに手紙の「もち豚塩麹雑煮」などが人気だった。話題性の高かった雑煮パワフルな雑煮が早めに売り切れたという。

\*

「まず安全に、そして美味しく。こんな時だからこそ、皆さんに明るい話題を届けたい」とは、青年部会長の南日洋さんと実行委員長の大堀真人さん。

折しも、県の警報が出たばかり。事前に綿密な感染対策を立て、システムと役割分担を立案していたからこそ、お客様に笑顔を届けられたのである。商工会議所青年部に拍手を送りたい。

## 1月21日(金)から初の「まん延防止措置」開始

オミクロン株の急激な拡大に伴い、本県では初のまん延防止措置が始まった。

県は医療体制逼迫を防ぐとして、認証を受けた飲食店などに営業は午後9時まで、大規模イベントの収容人数上限は2万人、県立学校部活動は平日のみ90分程度を要請した。期間は2月13日(月)まで。

本県の新型コロナウイルス感染者数は1万1千206人、新潟市5千316人、長岡市1千300人、新発田市519人と続く。入院者は177人、重症者はない(1月20日)。

第5波までと異なり、オミクロン株の感染力は非常に強いとされ、若年層にまで患者が広がっているのが特徴で、厚生省は同日5〜11歳のワクチン接種を特別承認する方針を決めた。

手洗い・マスク・三密回避を徹底したい。

## コラム

有り余る時間



升菰の渡り鳥舎

久しぶりの晴れ間。積もったばかりの新雪はひどく眩しい。スコップを入れ、雪の割れ目が陽の光を浴びて淡く青く染まった。雪が降り続くのは困ったものだけど、たまにこんな風景に出会うから、雪国暮らしも悪くない。

以前、新発田で暮らした洋画家・佐藤哲三の「みぞれ」や「帰路」が好きだと書いたことがある。タッチについては印象派的なゴッホの影響、画面の扱いはターナーっぽい。だけど、私には彼の風景画、すくく写実的に感じられる。「いつか確かにこんな風景を見たことがある」と既視感に襲われるのだ。特に冬の低い雲の間から覗く夕焼けのオレンジ色。サクサクサクッと気持ち良い音をたてていた雪除けだが、晴れ間は夕刻までは持たず、チラホラ粉雪が舞ってきた。腰も痛んできたので、家に入って炬燵に潜り込んだ。感染症で時間はある。最近買った浮世絵の北斎や廣重などの画集を通して眺めたり、噂に聞いていたが読んでいなかった組織運営の要諦をまとめた「貞観政要」を放り出して、「言志録」に目を通した。浮世絵の解説では「画面に描かないことで観る人に想像させるべく進化した」と言い、組織論では「諫める人がいなくなるとすぐ滅びる」と説く。芸の世界では人の目を欺いて楽しませ、組織では逆に正直が要と説いているのが面白い。



くは側用人・柳沢吉保の関係者に分配され  
ている(論文集137頁参照)。  
原教石備と寺坊吉備門の2人は仙石  
伯耆守に自訴(自首)している。しかし、当夜  
の江戸城の留守(当直)は溝口探津守であ  
る。仙石伯耆守と溝口探津守と3重縁であ  
る。この二人も一心同体である。事前の計画  
通りだったのではないかと。

ここで富澤氏の講演は時間切れとなった  
が、溝口家が浅野家に味方した私的な理由  
について、富澤氏は両家が代々深い縁戚関  
係を結んでいたことを挙げている(論文集  
263頁・本紙75号参照)。また、論文集に  
はないが初代新発田藩主 溝口秀勝の兄  
溝口平兵衛(勝吉)の息子・半之丞(龜田大  
隅守高綱)が浅野長政・幸長・長景の3代  
に仕え、賤ヶ岳・関ヶ原・大坂夏の陣で

戦功を挙げている。とくに大坂夏の陣の結  
戦、樫井合戦での活躍は後世までの語り草  
になり、岸和田のだんじり彫刻でその雄姿  
が伝えられている(本紙84号参照)。  
赤穂事件以降では、浅野本家から新発田  
藩10代藩主 溝口直継が広島藩8代藩主・  
浅野奇賢の娘・歌姫を正室(嫁)に迎えた。  
文政2(1868)年には広島藩隊が新発田  
を包囲した奥羽越前藩同盟を撃破した。

富澤氏の研究では、討入りの主役は安兵  
衛、それを陰で助けたのが溝口探津守とし  
その裏で時の幕府が「討入り」を「上杉家  
取り潰し」の材料にしたかったのではない  
かと、結論付けている。さらに、領地拡大の  
実利だけでなく、溝口家やその遠戚と吉良  
家が源平時代から対立していたと指摘し  
た。詳しくは富澤明論文集「堀部安  
兵衛を参照されたい」。

3000円(子供500円)で運行、1日当たり約  
25人利用している。  
問題はやはり経費である。町としては利  
用者数を伸ばす目的で、1カ月乗り放題  
期券や回数券を発行している。また、ゆう  
パック配達や弁当宅配も請け負っている。  
新発田市では、例えば豊浦地区ではハイ  
ブリッド言って定時定路線とデマンド形  
式を組み合わせ、運行は業者に委託して  
いる。地域住民が主体となるシステムは大い  
に参考になる。

成功先進地  
視察事例⑱

# 過疎地の公共交通として 自動運転システムを導入

福井県の永平寺町は町内に曹洞宗大本山  
永平寺があるものの、人口約1万8千人、世  
帯約6500、年間予算約86億円の小さ  
な町である。山間部に位置することも  
あって人口減少に悩んでいる。

町には福井市のJR新福井駅から「えち  
ぜん鉄道」が今も走っているが、京福電鉄の  
永平寺線は廃線となり、その軌道跡を利用  
自動運転カート(走時定路線で走らせて注  
目されているZENdrive)を走らせてい  
る(以下)を付けている。

副次効果として円滑に  
「近郊タクシー」を実現  
地元住民と自動運転の協力が盛り上がる  
うちに出た「ドライブ」が「近郊タクシー」  
である。道路運送法第78条にも「つくま自  
家用有償旅客輸送システム」、運転手は地域  
住民。予約制で自宅から運行当初は定時定  
路線だったが、今は「ドライブ」のデマン  
ド方式に移行し、利用者も3倍に増やした。  
自宅から目的地(町内の病院・スーパー・  
公共施設等)まで「ドライブ」で、片道大人

平成28(2016)年に国土交通省の実証  
実験地に選定、翌29(2017)年には試乗  
イベントを開催、平成30(2018)年から  
実証実験を開始した。今は平成4年度中の  
レベル4(特定条件下での完全無人運転)実  
現に向けた取組が続いている。

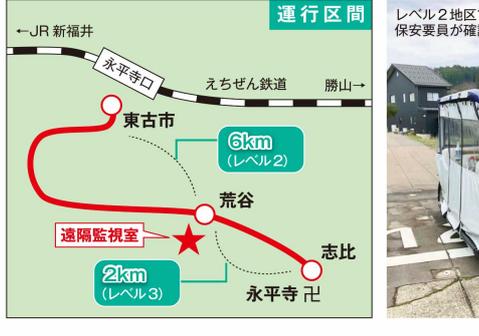
設備費は国土交通省持ちこたうものの、  
厳しい財政状況を反映(5年間で乗場件  
費を4億円削減)、運行は「まち」へり全社  
に委託しており、今後も経費削減が努めら  
れると。

そのほか、踏切・速度・冬期間運用・ド  
アツードアでない非利便性など問題は多  
い。しかし、町役場職員はいずれ早いうち  
に完全自動運転にする「と問題点を」こ  
と解決していきそうだ。

平成28(2016)年に国土交通省の実証  
実験地に選定、翌29(2017)年には試乗  
イベントを開催、平成30(2018)年から  
実証実験を開始した。今は平成4年度中の  
レベル4(特定条件下での完全無人運転)実  
現に向けた取組が続いている。

設備費は国土交通省持ちこたうものの、  
厳しい財政状況を反映(5年間で乗場件  
費を4億円削減)、運行は「まち」へり全社  
に委託しており、今後も経費削減が努めら  
れると。

そのほか、踏切・速度・冬期間運用・ド  
アツードアでない非利便性など問題は多  
い。しかし、町役場職員はいずれ早いうち  
に完全自動運転にする「と問題点を」こ  
と解決していきそうだ。



## 冬野菜 マルシェ

1/28(Fri) → 30(Sun)

生産者こだわりの農産物が大集合!!  
●お米の特売あり!

**TON TON**

- 新発田店 9:00~18:00  
新発田市荒町1480  
☎0254-20-2229
- 松崎店 9:00~19:00  
新潟市東区新松崎1-6-14  
☎025-274-2229

## 花は心のビタミン!

### 新発田の花き農家さんを応援します。

# フラワー デモンストレーション & トークショー

令和4年 3月 6日(日)

14:00開演(13:00開場)

新発田市民文化会館 大ホール

入場料 2,000円(全席指定) 好評発売中

※未就学児の入場はご遠慮願います

1,000円分の  
花のおみやげつき  
※チューリップまたはバラ  
(種類は選べません)

いけばな査定コーナーの  
挑戦者を公募します!

トークショー内の「いけばな査定コーナー」に挑戦できません。いけばな経験の有無は問いません。参加ご希望の方は住所、氏名、電話番号、年齢、職業、抱負を下記のとおり、直接文化会館へお持ちください。厳正な選考の上、結果をご連絡いたします。

●定員4人 ●2/18(金)予約

FAX 0254-26-2500  
bunkageijutsu@city.shibata.lg.jp

新発田市民文化会館 〒957-0053 新発田市民中央町 4-11-7 TEL 0254-26-1576

## 陽だまり苑 ふえりあ 内覧会



**2月25日(金)** イベント終了 16:00  
時間 14:30~18:30

**2月26日(土)** イベント終了 16:00  
時間 10:00~18:30

感染症対策のため **事前のご予約** をお願いしております。  
ご予約を頂きますと、当日お待たせせずにご案内できます。

ご予約・お問い合わせ パルcomfy陽だまり苑  
お気軽にお電話ください ☎ 0254-23-1117







新型コロナウイルス対策を徹底して内覧会を開催します



**復刻!** しばた全国雑煮合戦 征夷大将軍を受賞

2013年・2014年  
2年連続受賞



炙り越後もち豚雑煮 数量限定 26日のみ **無料**

朝採りのいちごや  
新鮮野菜



**販売**  
紫雲寺のスーパーいまがわ直送

**無料**



ヤクルト1000  
ヤクルト400W  
各100本限定プレゼント  
26日 10:00~13:00

密がたっぷり  
あま〜い紅はるか



**販売**  
石焼きいも 26日 10:30~

カフェでコーヒータイム



**無料** いちごたっぷり!  
ドルチェ

**無料**

進化する介護 体験



25日 14:30~  
26日 13:30~

プロの技術でらくらく介護  
介護技術デモ

さあ!  
筋肉を意識して  
正しい姿勢!



25日 14:30~14:45  
26日 11:00~11:15

今すぐ始める介護予防  
介護予防体操

大人気  
キャラクターショー



25日 14:30~14:45  
26日 11:00~11:15

困って  
らんです



26日のみ  
相談コーナー

26日のみ  
訪問入浴実演



26日のみ  
訪問入浴実演

やっばり  
気になる体脂肪  
(無料計測)



26日 14:00~  
出張 フィットネス

26日 14:30~15:30  
ベビサイズ



お子さまと家族の笑顔が輝く贈り物

26日  
10:00~11:00

笑顔あふれる  
ピラティス



26日 11:30~12:00  
笑いヨガ



令和3年度 冬季通常展  
2022 1月15日(土) → 3月27日(日)

# 明治維新と新発田藩

1階展示室 入場無料

嘉永6年(1833)、ペリー率いるアメリカ東インド艦隊の艦船4隻の来航が、江戸時代の幕引きを告げました。新潟の海にも異国船が現れるようになり、新発田藩が警備にあたっていきます。その後大政奉還・戊辰戦争を経て明治4年(1871)廃藩置県が行われ、新発田藩は新発田県となります。この新しい時代と出会う18年間の新発田藩の姿を、現存する資料から多角的な視点で解説します。ぜひご覧ください

開館/9時~7時  
月曜休館(祝日開館・翌日休館)

新発田市立歴史図書館  
新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100

1階展示室2/入場無料

## 手仕事 しばた 手ぬぐいの型紙にみる 新発田の暮らし

大正から昭和にかけて、新発田の様々な商店が自分の店の宣伝も兼ねてオリジナルデザインの手ぬぐいを作り、これを季節の挨拶に合わせて配っていました。こうした手ぬぐいは地元の染物店が愛注し、自らデザインして味わいのある品を作っていました。これらの手ぬぐいが持つデザイン性は染物職人の技術が発揮され、「手仕事しばた」を象徴する作品としてみることもできます。このたび、歴史図書館が所蔵する市内の染物店が使っていた手ぬぐいの型紙を2回に分けて展示します。そこに記された新発田の町のにぎわい、暮らしの一端をご覧ください。

●冬の小展示●  
前半 商店編 ◆2月1日(火)~3月2日(水)  
後半 産業・行事編 ◆3月4日(金)~3月31日(木)  
※開館時間・休館は上記同様



# 落谷虹児記念館

落谷虹児 編集初参加 少女雑誌『令女界』(1922-1950) 創刊100年



大正から昭和にかけて、少女雑誌などで人気を博した新発田市出身の挿絵画家・落谷虹児(1898~1979)。15歳で日本画家を目指して上京。竹久夢二の知遇を得て22歳で『少女画報』に口絵を描いてデビュー。続いて新聞連載小説の挿絵、『令女界』の表紙絵のほか、愛唱歌となった「花嫁人形」の詩や書籍の装幀など、瞬く間に文章も絵も両方手掛ける話題の二刀流花形作家となります。

会期: 2/1(火) → 4/17(日)  
会場: 落谷虹児記念館  
休館日: 月曜(祝祭日は開館)  
2/8(火)・2/9(水)臨時休館

入館料: 一般・大学生 510円  
(20名以上は団体料金410円)  
高校生 210円・小・中学 110円  
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料となります。  
※新型コロナウイルス感染症対策等で開館日時の変更や中止の場合は新発田市のホームページでお知らせいたします。当館案内をご確認ください。  
※ご来館の際は、検温やマスクの着用・手指の消毒にご協力をお願いします。

〒957-0053  
新発田市中央町4-11-7  
電話&FAX 0254-23-1013

# Koji Fukiya コレクション展

パリ時代の虹児とリル 1926年

